



平成28年12月号



概況

最近の県内経済は、個人消費の一部に弱さがみられるものの持ち直し傾向は継続している。

まず個人消費関連では、百貨店・スーパー販売は8ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車合計で6ヶ月ぶりのプラスとなった。

住宅建設は、持家、貸家が増加し再びプラスとなった。公共投資は、国、県が大きく減少したほか、市町村も減少し再びマイナスとなった。

生産関連では、鉱工業生産指数（季節調整値）は前月比5.9%上昇の111.6と再び上昇した。28年県産リンゴ販売は、県外市場販売額が前年比15.0%の増加となった。八戸港の水揚げは、数量、金額ともに増加した。

雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.1ポイント上昇の1.12倍と昭和38年の集計開始以来の過去最高値を更新した。

個人消費	10月の 百貨店・スーパー販売額 (速報ベース、店舗調整後)は前年同月比0.4%減と8ヶ月連続のマイナスとなった。百貨店が同3.6%減、スーパーが同0.5%減となった。 10月の 自動車販売台数 は登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比1.2%増の4,407台と6ヶ月ぶりのプラスとなった。登録車が同1.6%増と2ヶ月連続のプラス、届出車は同0.8%増と14ヶ月ぶりのプラスとなった。
住宅投資	10月の 新設住宅着工戸数 は前年同月比45.4%増と再びプラスとなった。持家が同15.3%増、貸家が同147.4%増、分譲住宅が同33.3%減となった。
公共投資	10月の 公共工事請負額 は、全体で前年同月比31.0%減の131億8,000万円と再びマイナスとなった。独立行政法人等が同893.1%増となったものの、国は同66.6%減、県は同27.4%減、市町村は同8.3%減となった。
一次産業	農林水産省の発表によると、 28年県産米の相対取引価格 (28年10月)は「つがるロマン」が前年同月比15.2%上昇の1万3,312円、「まっしぐら」が同16.3%上昇の1万3,172円となった。 28年県産リンゴ販売 は、10月の県外出荷量が前年同月比0.1%増、消費地市場価格が同16.1%上昇となり、県外市場販売額は同15.0%増となった。 10月の 八戸港水揚げ は、数量が前年同月比1.3%増、金額は同33.6%増となった。
生産活動	9月の 鉱工業生産指数 (季節調整値)は、電気機械、鉄鋼、電子部品・デバイスなどが上昇し、前月比5.9%上昇の111.6と再び上昇した。原指数では電子部品・デバイス、食料品が上昇し、前年同月比2.6%上昇の112.6と4ヶ月連続で前年同月を上回った。

一次産業

米

「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比大幅上昇

農林水産省が発表した「平成28年産米の相対取引価格(平成28年10月)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は「つがるロマン」が前年同月比15.2%上昇の1万3,312円、「まっしぐら」は同16.3%上昇の1万3,172円となった。

公表された96銘柄の平均価格は1万4,307円となり、前月比0.2%低下、前年同月比9.1%上昇となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」で2万848円であった。前年同月比で見ると、比較可能な90銘柄のうち89銘柄が上昇し、そのうち上昇幅が大きかったのは、千葉「ふさおとめ」(20.9%)、福島「ひとめぼれ」(19.3%)、栃木「あさひの夢」(18.4%)などであった。

● 平成28年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位: 円/玄米60kg税込)

産地	品種	28年9月	28年10月	前月比	27年10月	前年同月比
青森	つがるロマン	13,311	13,312	0.0	11,556	15.2
	まっしぐら	12,988	13,172	1.4	11,323	16.3
岩手	ひとめぼれ	14,071	13,852	-1.6	12,954	6.9
宮城	ひとめぼれ	13,849	14,016	1.2	12,782	9.7
秋田	あきたこまち	14,151	14,184	0.2	12,805	10.8
山形	つや姫	18,121	18,001	-0.7	17,946	0.3
北海道	ななつぼし	14,200	14,114	-0.6	12,995	8.6
北海道	ゆめびりか	17,136	15,239	-11.1	16,447	-7.3
全銘柄平均価格		14,342	14,307	-0.2	13,116	9.1

相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)を加重平均したものの。

資料出所: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

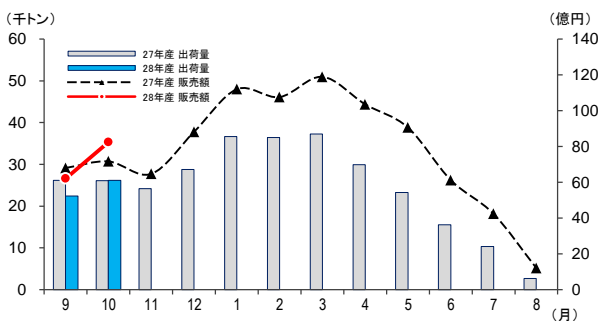
りんご

28年産、県外市場販売額、前年比15.0%増

28年県産りんご販売、10月の県外出荷量は前年同月比0.1%増の2万6,137トンとなった。これは前3ヶ年の10月平均出荷量を2.8%上回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比0.8%低下、前3ヶ年比較では21.9%上昇の245円/kgとなった。一方、消費地市場価格は「早生ふじ」が前年同月比15.8%上昇の352円/kg、「つがる」が同14.4%上昇の247円/kg、合計では同16.1%上昇、前3ヶ年比較で26.0%上昇の325円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比15.0%増、前3ヶ年比較で30.3%上昇の82億4,000万円となった。

平成28年産県産りんごの消費地市場価格は、果実全般の入荷量が少なく高値相場となっているなか、「早生ふじ」や「トキ」の食味が良好で、価格は高値で推移した。

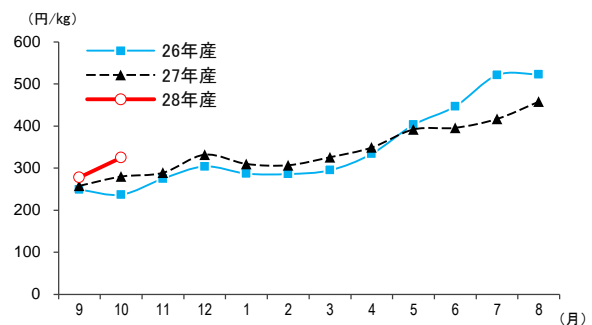
● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所: 県りんご果樹課

(注) 出荷量: 生食用(県外市場、輸出、小口他)
販売額: 小口、加工向けを除く販売額

● 消費地市場価格の推移 (全種平均)



資料出所: 県りんご果樹課

一次産業

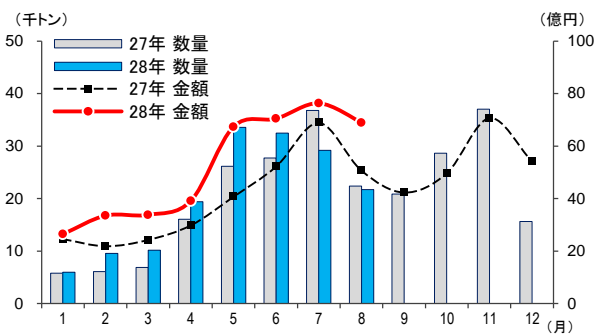
海面漁業

8月の海面漁業、数量3.0%減、金額36.1%増

8月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比3.0%減の2万1,705トン、漁獲金額が同36.1%増の68億9,142万円となった。これは前年同月に比べ、ホタテガイ（新貝）、スルメイカ（近海・生）等の漁獲金額が増加したことによる。

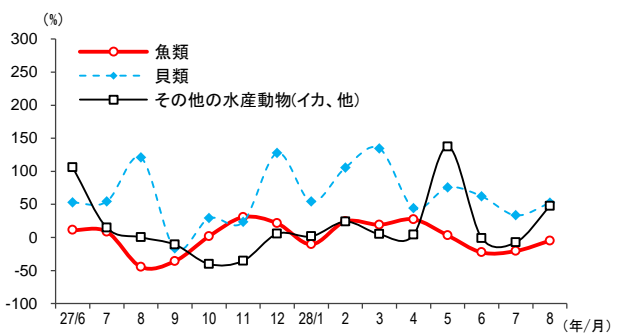
魚種別にみると、「魚類」は、サバの大幅減少がみられ、数量が前年同月比46.1%減の2,783トン、金額は同4.8%減の9億2,048万円となった。「貝類」はホタテガイ（新貝）の水揚げが大幅に増加し、数量が同21.2%増の1万2,959トン、金額は同52.2%増の33億7,195万円となった。「その他の水産動物」は、スルメイカ（近海・生、船凍）が増加した一方、アカイカ（近海）は大幅に減少し、数量が同0.8%減の5,898トン、金額は同47.4%増の25億7,454万円となった。

● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所：青森県農林水産部

● 魚種別漁獲金額（前年同月比増加率）



資料出所：青森県農林水産部

八戸港水揚げ

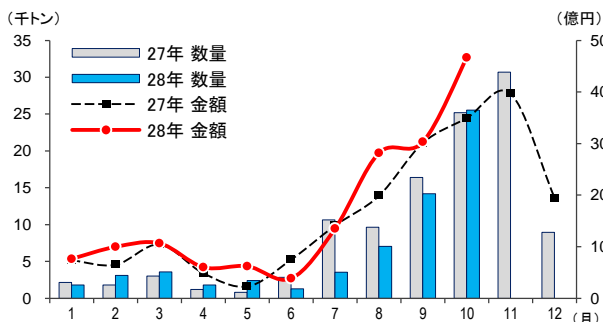
10月水揚げ、数量1.3%増、金額33.6%増

10月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比1.3%増の2万5,531トン、金額は同33.6%増の46億6,751万円と、数量、金額ともに増加した。

イカ釣り漁は、数量が前年同月比9.2%減の1,677トン、金額は同85.4%増の13億4,693万円と、数量は減少したものの、金額は大幅に増加した。近海生スルメイカ漁が前年を大幅に下回ったものの、船凍スルメイカ漁は前年を幾分上回り、品薄による高値相場から金額は大幅増加となった。

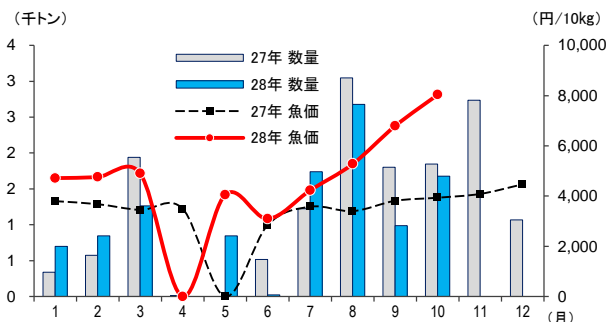
大中型旋網漁は、道東沖でのマイワシ漁が豊漁で、数量が前年同月比5.6%増の2万1,172トン、金額は同0.1%増の20億6,113万円となった。機船底引き網漁は、中型船の八戸前沖でのスルメイカ漁が主体だったが、シケや不漁が多く、数量が前年同月比19.7%減の1,382トン、金額は、品薄による高値相場から同117.9%増の9億3,446万円となった。

● 八戸港水揚げ高



資料出所：八戸市水産事務所

● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所：八戸市水産事務所（注）平成27年5月、平成28年4月は水揚げ実績なし

二次産業

鉱工業生産

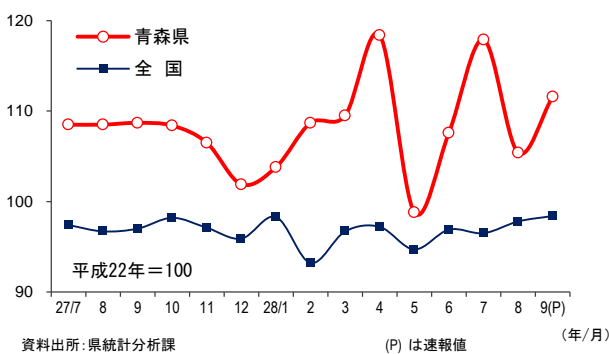
前月比 5.9%上昇、再び上昇

9月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成22年=100)は前月比5.9%上昇の111.6と再び上昇した。

主要6業種をみると、パルプ・紙が前月比12.8%低下したものの、電気機械が同12.0%、鉄鋼が同9.1%、電子部品・デバイスが同5.2%、食料品が同2.8%、業務用機械が同1.1%それぞれ上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、鉄鋼、パルプ・紙、業務用機械、電気機械が低下したものの、電子部品・デバイス、食料品が上昇し、前年同月比2.6%上昇の112.6と4ヶ月連続で前年同月を上回った。

● 鉱工業生産指数



● 業種別生産指数 (平成28年9月)

業種 ()内は一万分比ウェート	季節調整済指数		原指数	
	平成22年=100	前月比 (%)	平成22年=100	前年同月比 (%)
鉱工業 (10,000.0)	111.6	5.9	112.6	2.6
食料品 (2,410.0)	107.3	2.8	108.4	1.5
鉄鋼 (1,200.9)	101.9	9.1	93.6	△ 15.6
電子部品・デバイス (1,048.2)	169.4	5.2	187.6	31.0
業務用機械 (1,005.1)	92.2	1.1	95.4	△ 8.7
パルプ・紙 (722.3)	80.3	△ 12.8	88.0	△ 14.1
電気機械 (429.2)	102.3	12.0	106.8	△ 0.7

資料出所: 県統計分析課

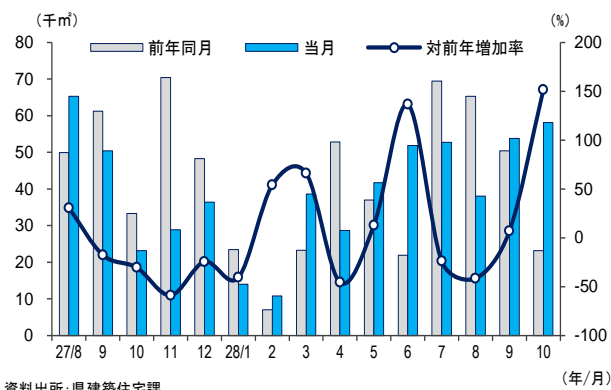
設備投資

前年同月比 151.4%増加、2ヶ月連続増加

今月から、県内の民間設備投資の動向をみるため、「用途別着工床面積」全体から、居住用住宅と公務用を除いた「建築物着工床面積(民間非居住用)」を掲載する。同指標は、民間企業の工場、事務所等の建築着工を捉えており、民間設備投資の動向を示すものとして重要な指標である。

10月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比151.4%増の5万8,130㎡と2ヶ月連続で増加した。用途別着工床面積をみると、医療、福祉用が同89.5%減の262㎡、製造業・鉱業・建設業用が同8.3%減の3,274㎡と減少したものの、農林水産業用が同約11倍の3,773㎡、その他サービス業用が同約10倍の2万6,973㎡、運輸・通信業用が同178.8%増の513㎡、教育、学習支援業用が同133.7%増の1万1,767㎡、卸・小売業用が同33.5%増の7,184㎡となった。

● 建築物着工床面積(民間非居住用)



● 用途別着工床面積

用途別	28年10月 (㎡)	27年10月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	3,773	347	987.3
製造業・鉱業・建設業用	3,274	3,571	△ 8.3
卸・小売業用	7,184	5,383	33.5
運輸・通信業用	513	184	178.8
教育、学習支援業用	11,767	5,036	133.7
医療、福祉用	262	2,502	△ 89.5
その他サービス業用	26,973	2,707	896.4

資料出所: 県建築住宅課

二次産業

公共工事

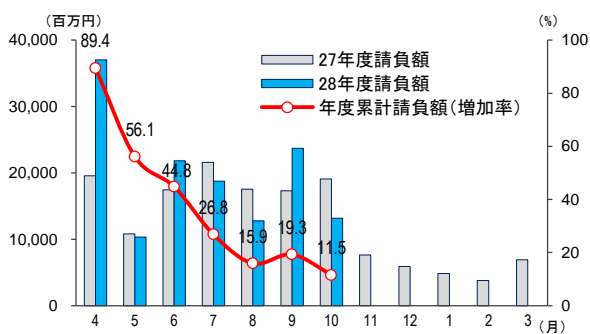
前年同月比 31.0%減、再びマイナス

10月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比31.0%減の131億8,000万円となり、再びマイナスとなった。

当月の請負額は、国が、防衛省で増加したものの、国土交通省で大幅に減少したほか農林水産省も減少し、同66.6%減の16億8,600万円となった。独立行政法人等は、同893.1%増の2億100万円となった。県は、県土整備部が大幅に減少したほか農林水産部も減少し、同27.4%減の52億4,000万円となった。市町村は、同8.3%減の52億7,800万円となった。

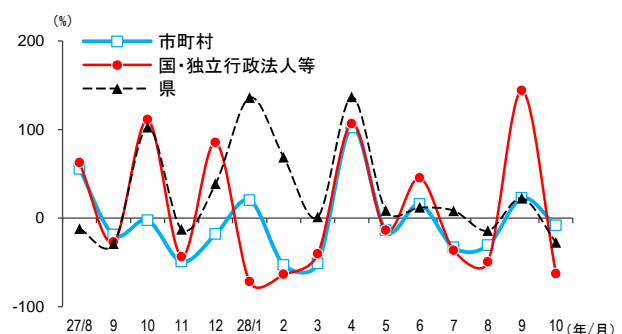
当月は、国、県の大幅な減少が全体を押し下げた。

● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

住宅着工

前年同月比 45.4%増、再びプラス

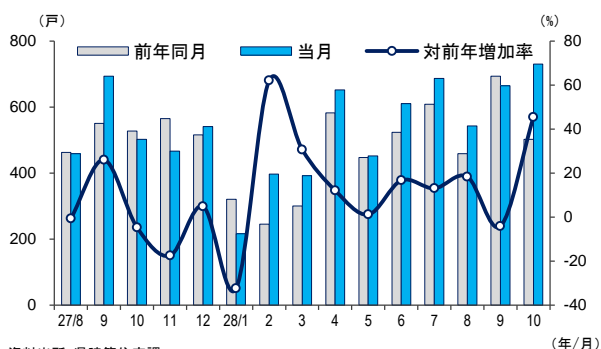
10月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比45.4%増の730戸と再びプラスとなった。利用関係別では、持家が同15.3%増、貸家が同147.4%増、分譲住宅が同33.3%減となった。

地域別にみると、全体では、八戸市と郡部で減少したものの、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市で増加した。

持家は、三沢市、むつ市で減少したものの、青森市、弘前市、八戸市、平川市などで増加した。貸家は、郡部などで減少したものの、著しく増加した青森市をはじめ、弘前市、八戸市、むつ市などで増加した。

当月は、貸家の大幅な増加が全体を押し上げ、前年実績を大幅に上回った。

● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

● 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	28年 10月	27年 10月	前年 同月比
持家	347	301	15.3
貸家	334	135	147.4
給与住宅	5	-	0.0
分譲住宅	44	66	△ 33.3
総戸数	730	502	45.4

資料出所: 県建築住宅課

三次産業

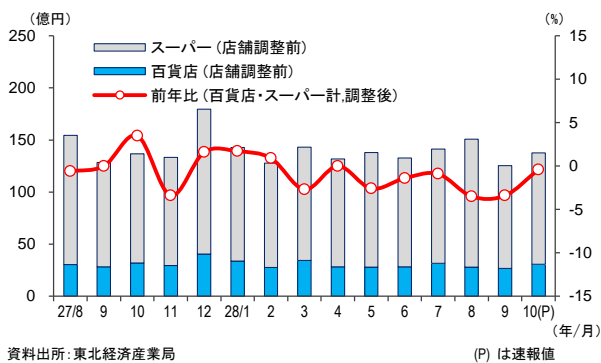
百貨店・スーパー販売

前年同月比 0.4%減、8ヶ月連続マイナス

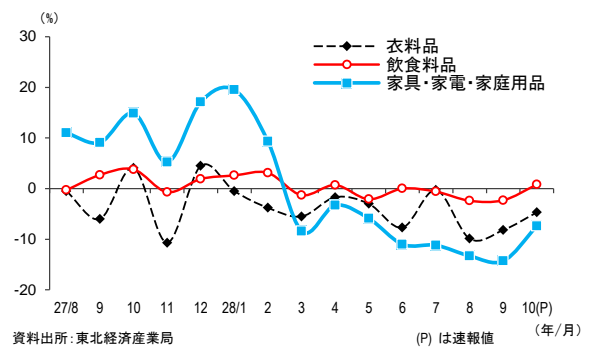
10月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 0.4%減と8ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同 3.6%減、スーパーが同 0.5%減となった。

品目別では、衣料品が同 4.7%減、ウエートの高い飲食料品が同 0.8%増、家具・家電・家庭用品が同 7.4%減となった。衣料品は、気温が高めの日が続いて冬物商品の動きが鈍く、婦人服、紳士服とも前年を下回った。飲食料品は、前年を幾分上回った。家具・家電・家庭用品は、家具が、新築需要が少なく鈍い動きとなった。家電製品は、テレビで大型、4K 両製品が価格低下による割安感から好調だったほか、健康関連器具にも動きがみられた。家庭用品は引き続き低調だった。

● 百貨店・スーパー販売動向



● 品目別売上高(店舗調整済、増加率)



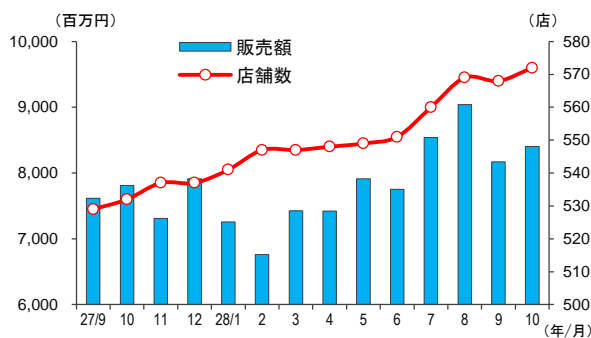
各種小売業態販売額

コンビニエンスストア販売額、前年同月比 7.6%増

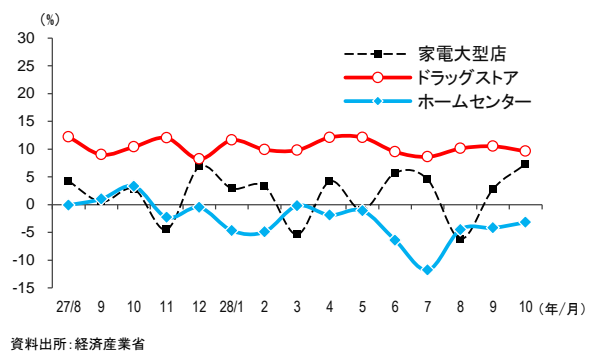
10月のコンビニエンスストア販売額(確報値、全店ベース)は、前年同月比 7.6%増の 84 億 600 万円となった。店舗数は、前年同月比 7.5%増の 572 店となった。

また、各種小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店は前年同月比 7.3%増、ドラッグストアは同 9.6%増、ホームセンターは同 3.2%減となった。

● コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



● 各種小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



三次産業

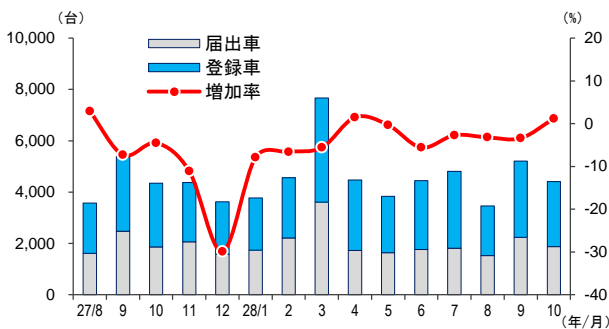
自動車販売

前年同月比 1.2%増、6ヶ月ぶりのプラス

10月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 1.2%増の 4,407 台と 6ヶ月ぶりのプラスとなった。内訳別にみると、登録車は、貨物車が同 18.4%減、小型乗用車が同 12.4%減となったものの、普通乗用車は同 40.7%増となり、登録車合計では同 1.6%増の 2,525 台と 2ヶ月連続のプラスとなった。届出車は貨物車が同 8.7%減となったものの、乗用車が同 5.0%増と 22ヶ月ぶりのプラスとなり、届出車合計では同 0.8%増の 1,882 台と 14ヶ月ぶりのプラスとなった。

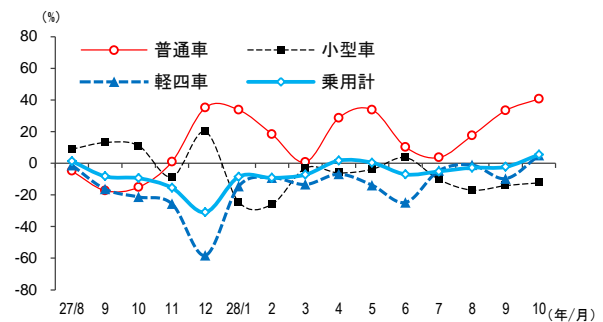
乗用車の登録・届出合計販売台数は、同 5.5%増の 3,465 台と 5ヶ月ぶりのプラスとなった。

自動車販売動向



資料出所：日本自動車販売協会連合会青森県支部

乗用車販売動向（増加率）



資料出所：日本自動車販売協会連合会青森県支部

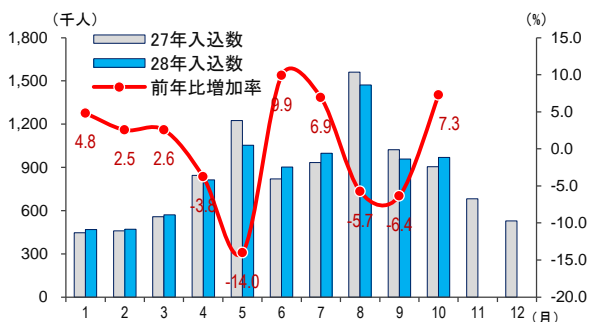
観光動向

前年同月比 入込数 7.3%増、宿泊者数 2.2%増

10月の県内の観光動向は、県内 34 施設の入込数が前年同月比 7.3%増の 96 万 9,341 人となった。施設別入込数は、八甲田丸が同 46.0%増の 8,715 人、アスパムが同 17.9%増の 10 万 1,082 人、浅虫水族館が同 16.5%増の 2 万 5,035 人、白神山地ビジターセンターが同 10.2%増の 1 万 1,121 人、一方、弘前市立観光館は同 9.3%減の 5 万 964 人、八食センターは同 1.5%減の 21 万 9,628 人などとなった。

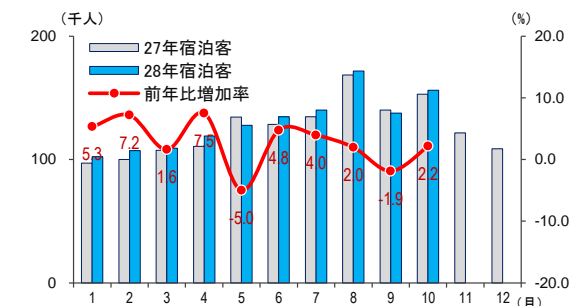
また県内 53 施設（6月以前は 54 施設）の宿泊者数は、前年同月比 2.2%増の 15 万 6,238 人となった。八戸市（19 施設）が同 6.1%増の 4 万 5,442 人、弘前市（17 施設）が、同 2.0%増の 5 万 4,909 人、一方、むつ市（6 施設）は、同 1.7%減の 1 万 4,323 人、青森市（12 施設）は、同 0.3%減の 4 万 1,564 人などとなった。

県内 34 施設入込数



資料出所：県観光国際戦略局観光企画課

県内 53 施設宿泊者数



資料出所：県観光国際戦略局観光企画課

物価・雇用・金融

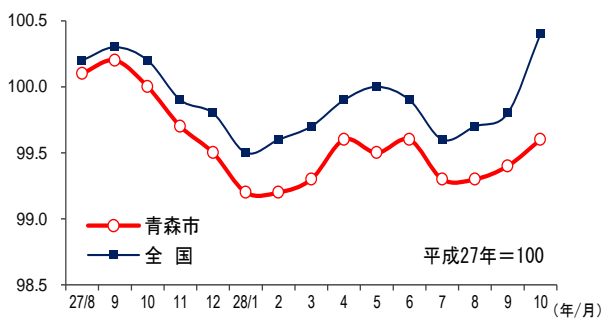
消費者物価指数

前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.4%低下の 99.6

10月の青森市の消費者物価指数(平成27年=100)は前月比0.2%上昇、前年同月比0.4%低下の99.6となった。主要費目別に前月と比べると、「食料」が生鮮野菜などの値上がりにより0.4%、「交通・通信」がガソリンの値上がりにより0.9%、「家具・家事用品」が室内装備品などの値上がりにより0.8%上昇した。前年同月との比較では、「食料」(2.0%)、「教育」(1.6%)、「教養娯楽」(1.5%)などが上昇した一方、「光熱・水道」(△7.3%)と「交通・通信」(△2.4%)などが下落した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は99.5となり、前月比0.2%上昇、前年同月比では0.4%下落した。

● 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

● 費目別指数の動き(平成28年10月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.6	0.2	△ 0.4
食料	102.6	0.4	2.0
住居	100.3	△ 0.2	△ 0.1
光熱・水道	89.8	△ 0.8	△ 7.3
家具・家事用品	98.6	0.8	△ 1.4
被服及び履物	102.6	0.3	0.3
保健医療	101.1	0.2	0.9
交通・通信	97.1	0.9	△ 2.4
教育	102.0	0.0	1.6
教養娯楽	102.3	0.4	1.5
諸雑費	100.9	△ 0.3	0.7

資料出所: 県統計分析課

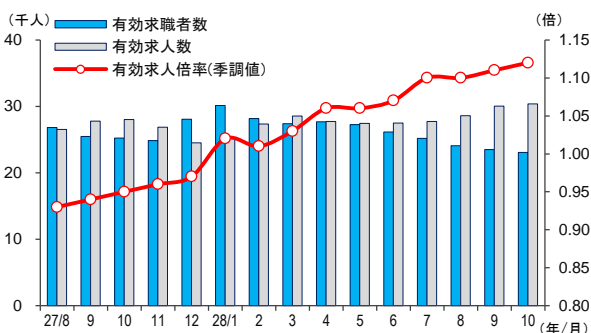
雇用動向

有効求人倍率、過去最高の 1.12 倍、10ヶ月連続 1 倍超え

10月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比8.5%増の3万376人、有効求職者数は同8.5%減の2万3,094人となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比8.9%増、臨時・季節求人数が同39.8%増、パート求人数が同3.9%減となり、全数では同5.8%増の1万1,647人となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、運輸業、郵便業、卸売・小売業、生活関連サービス業、娯楽業などで減少したものの、建設業、製造業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業、医療・福祉、複合サービス事業、サービス業などで増加した。

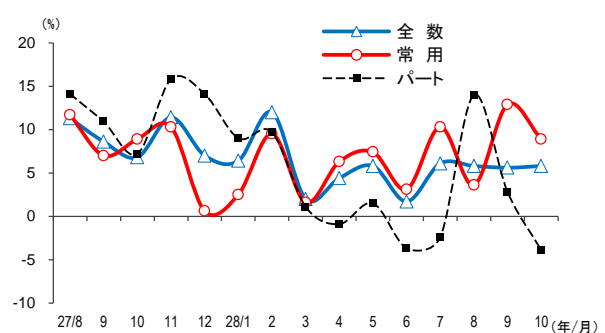
県内の雇用状況は、有効求人倍率が、前月比0.1ポイント上昇の1.12倍となり、1963年の集計開始以来の最高値を更新した。10ヶ月連続の1倍超えであり県内の雇用環境は改善が続いている。

● 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

● 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

物価・雇用・金融

企業倒産

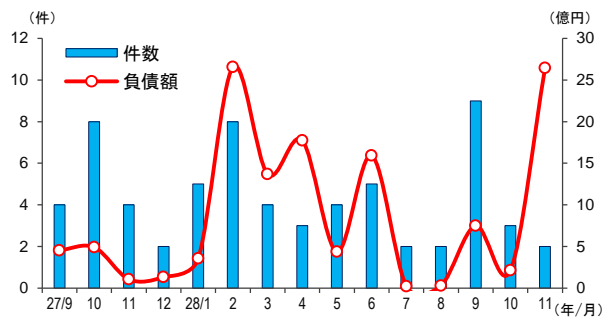
前年同月比、倒産件数 2 件減、負債総額 25 億 3,700 万円増

11 月の県内企業倒産は、件数が前年同月比で 2 件減の 2 件、負債総額は同 25 億 3,700 万円増の 26 億 4,300 万円となり、件数は前年を下回ったものの、負債総額は前年を大幅に上回った。前月比では件数が 1 件減、負債総額は 24 億 3,000 万円増となった。業種別では、小売業、運輸業が各 1 件となった。地域別では、青森市、八戸市にて各 1 件の発生となった。原因別では、既往のシワ寄せ、販売不振が各 1 件となった。

県内の企業倒産件数は、引き続き一桁台となり前年同月比で 2 件の減少となった。負債総額は、今年最大の大型倒産が 1 件あり、前年比及び前月比ともに大幅に上回った。

なお、当月の従業員被害者は 250 名であり、1 月からの年間累計で 466 名となった。

● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

● 業種別・原因別件数 (平成 28 年 11 月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業		他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	1
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	1
不動産業		売掛金回収難	
運輸業	1	在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他		その他	
合計	2	合計	2

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

金融動向

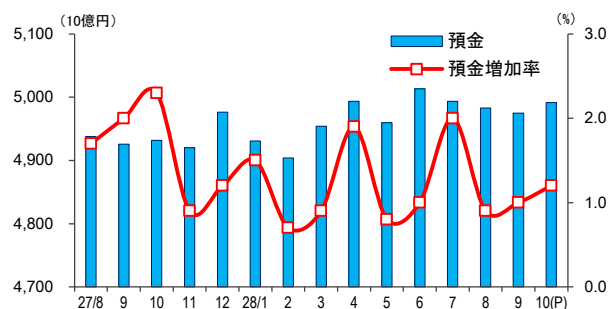
預金、貸出金とも 42 ヶ月連続のプラス

10 月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比 1.2%増の 4 兆 9,914 億円、貸出金は同 3.4%増の 2 兆 9,015 億円とそれぞれ増加した。

預金は法人預金を中心に前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比 0.2 ポイント増加し、42 ヶ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は法人、個人、地公体向けが、いずれも増加し前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比 0.1 ポイント減少ながら、42 ヶ月連続のプラスとなった。

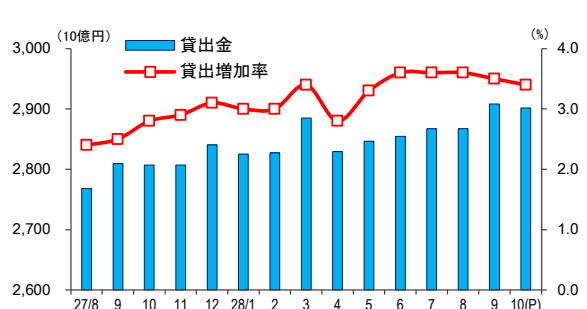
● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

● 貸出金の推移

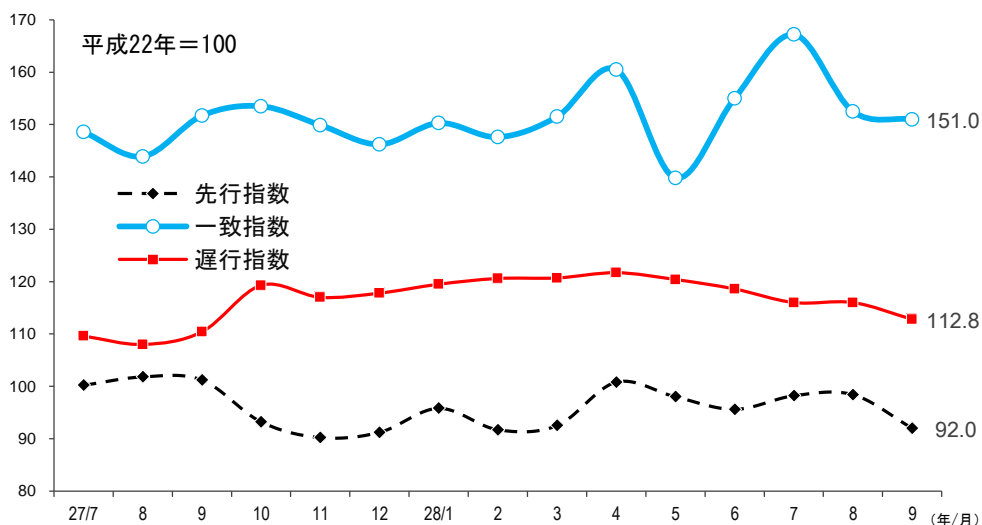


資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

青森県景気動向指数

● 青森県景気動向指数（CI）の推移



資料出所: 県統計分析課

(注)平成28年1月分から採用系列見直し

● 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを○、マイナスを●で表示
下段: 寄与度

採用系列名	28年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	○ 1.31	● △ 1.34	○ 0.52	○ 0.22	● △ 1.42	● △ 0.01
2. 旅行取扱高	○ 0.98	● △ 3.31	○ 2.30	○ 1.80	○ 0.46	● △ 2.33
3. 鉱工業生産指数	○ 3.68	● △ 5.88	○ 3.88	○ 4.50	● △ 5.60	○ 2.64
4. 投資財生産指数	○ 1.52	● △ 4.96	○ 5.48	● △ 0.58	● △ 1.92	○ 0.60
5. 有効求人倍率(全数)	○ 3.20	● △ 1.72	● △ 0.12	○ 3.32	● △ 1.80	● △ 0.07
6. 輸入通関実績(八戸港)	○ 0.18	● △ 1.14	● △ 0.05	○ 1.36	○ 0.24	● △ 1.87
7. 所定外労働時間指数(全産業)	● △ 1.83	● △ 2.32	○ 3.12	○ 1.34	● △ 4.39	● △ 0.46

資料出所: 県統計分析課

※景気動向指数(CI: Composite Index)とは

- 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

先行指数……景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用

一致指数……景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用

遅行指数……景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

- CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

国内景気

概況

国内景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が継続。個人消費は総じてみれば底堅い動き。設備投資は持ち直しの動きに足踏みがみられる。輸出はおおむね横ばい。生産は持ち直しの動きがみられる。企業収益は高い水準だが、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばい。雇用情勢は改善。消費者物価は横ばい。

百貨店・スーパーの動向（既存店ベース）

—前年同月比 1.0%減、3ヶ月連続のマイナス—
10月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 1.0%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同 4.0%減、スーパーは同 0.6%増となった。商品別にみると、衣料品が同 5.4%減、飲食品は同 1.1%増、その他商品は同 1.5%減となった。

住宅建設

—前年同月比 13.7%増、4ヶ月連続のプラス—
10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 13.7%増の8万7,707戸と4ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 4.9%増と9ヶ月連続の増加、貸家が同 22.0%増と12ヶ月連続の増加、分譲住宅が同 11.7%増と2ヶ月連続の増加となった。

企業倒産

—倒産件数減少、負債総額増加—
10月の企業倒産は、件数が前年同月比 8.0%減の683件、負債総額は同 4.7%増の1,112億3,500万円。倒産件数は2ヶ月連続の減少、負債総額は再び増加した。10月としては件数が1990年の646件以来、26年振りに700件を下回る低水準。負債総額は、10月としては過去20年間で2番目に少なかった。

為替動向

—11月末終値 112円72銭—
11月の東京外国為替市場は前月末から反発104円台でスタート。上旬は米大統領選の先行き不透明感から円を買う動きが広がり103円台で推移。中旬は米大統領選でのトランプ氏勝利を受け、米財政出動を増やすとの思惑が広がり110円台まで円安が進行。後半も米金利の先高感を背景に113円台まで円安が進んだ。
月末終値は112円72銭。

鉱工業生産指数

—前月比 0.1%上昇の 98.5—

10月の鉱工業生産指数は前月比 0.1%上昇の98.5(季節調整値)となった。電子部品・デバイス、金属製品、輸送機械等が上昇し、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、化学(除、医薬品)などが低下した。11月は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、情報通信機械などの上昇により前月比 4.5%上昇を予測している。

新車販売（除く軽自動車）

—前年同月比 0.8%増、3ヶ月連続のプラス—

10月の国内新車販売は前年同月比 0.8%増の24万2,869台と3ヶ月連続のプラスとなった。乗用車が同 1.6%増、貨物車は同 4.0%減となった。乗用車は普通乗用車が同 11.6%増と7ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同 7.9%減と6ヶ月連続のマイナスとなった。

完全失業率

—前月比横ばいの 3.0%—

10月の完全失業率は前月比横ばいの3.0%となった。完全失業者数は前年同月比13万人減の195万人となり、77ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比5万人減の34万人、自己都合が同4万人減の83万人などとなった。

消費者物価指数

—前月比 0.6%上昇の 100.4—

10月の全国消費者物価指数(2015年=100)は前月比 0.6%上昇、前年同月比 0.1%上昇の100.4となった。前月に比べ、食料、教養娯楽などが上昇した一方、光熱・水道が下落した。生鮮食品を除く総合指数は、前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.4%下落の99.8となった。

国際収支

—経常収支、28ヶ月連続で黒字—

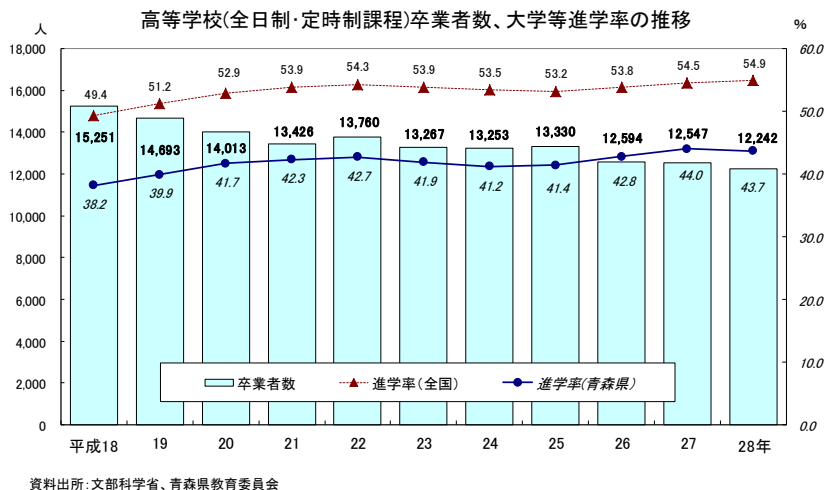
10月の経常収支額は前年同月比3,181億円増(22.7%増)の1兆7,199億円と28ヶ月連続で黒字となった。「貿易収支」の黒字幅の拡大が寄与した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が4,157億円の黒字、第一次所得収支が1兆4,696億円の黒字、第二次所得収支が1,654億円の赤字だった。

今月の統計

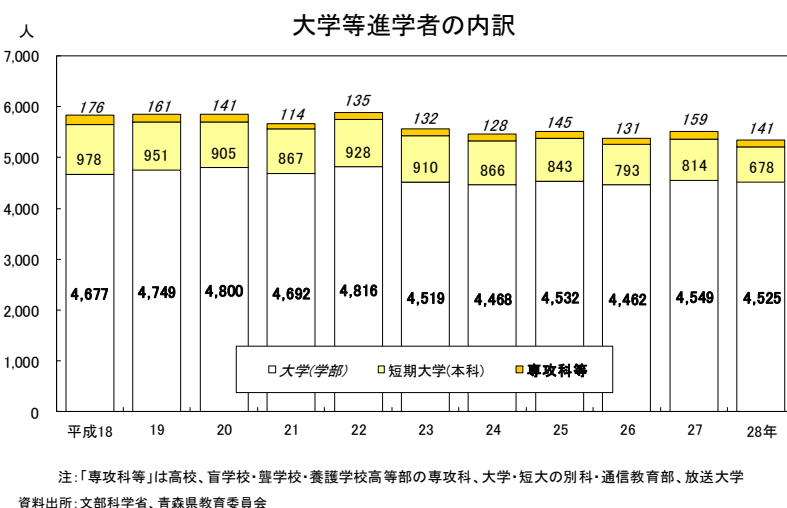
青森県の大学等進学状況

文部科学省がまとめた「学校基本調査」および青森県教育委員会がまとめた「高等学校等卒業者の進路状況」(平成28年5月1日現在)によると、平成28年3月高等学校(全日制・定時制課程)卒業生数は前年比305人減の1万2,242人、うち大学等進学者数は同160人減の5,203人であった。大学等進学率は同0.3ポイント低下の43.7%となり、4年ぶりに低下した。

本県の大学等進学率の全国順位は47都道府県中40位であり、全国平均の54.9%を11.2ポイント下回った。



平成28年3月高等学校卒業生の大学等進学者の内訳をみると、大学(学部)への進学者数が前年比24人減の4,525人、短期大学(本科)への進学者数が同136人減の678人、専攻科等への進学者数が同18人減の141人と、それぞれ前年を下回った。卒業生数に占める割合は大学が37.0%、短大が5.5%、専攻科等が1.1%となった。



大学(学部)及び短期大学(本科)への入学志願状況をみると、志願者数は前年比65人減の5,645人、進学者数は同160人減の5,203人となった。入学志願率は同0.6ポイント上昇の46.1%、入学率は同1.7ポイント低下の92.2%となった。

大学(学部)、短期大学(本科)の入学志願率・入学率の推移

	卒業生数 (人)	入学志願者数 (人)	進学者数 (人)	入学志願率 (%)	入学率 (%)
平成23年3月	13,267	5,975	5,429	45.0	90.9
24年3月	13,253	5,854	5,334	44.2	91.1
25年3月	13,330	5,778	5,375	43.3	93.0
26年3月	12,594	5,798	5,255	46.0	90.6
27年3月	12,547	5,710	5,363	45.5	93.9
28年3月	12,242	5,645	5,203	46.1	92.2

資料出所: 文部科学省、青森県教育委員会

県内・国内トピックス 11月

県内

9日 ソフトボール台湾チーム、オリンピック事前合宿弘前市で実施

弘前市長の発表によると、東京五輪・パラリンピックのソフトボール競技に台湾チームが出場した場合、弘前市で事前合宿を行うことが決定した。本県への事前合宿誘致は今別町のモンゴルフエンシングチームに続き2例目となる。

11日 プロ野球1軍公式戦、弘前市での開催が決定

日本野球機構によると、来年6月28日弘前市のはるか夢球場で「東北楽天ゴールデンイーグルス対オリックスバファローズ」戦開催決定。本県での1軍公式戦は昭和63年以来、29年ぶり。

20日 東京で「東北六魂祭」パレード開催

今年6月の青森市開催で東北6県を一巡した「東北六魂祭」が、日本各地の魅力を発信する「東京新虎まつり」(開催地:東京都港区)のメインイベントとして参加した。トリは青森ねぶたが務めた。

22日 平成27年度県内産地直売施設・道の駅の合計販売額 121億円

県の産地直売施設等実態調査によると、平成27年度の県内産直施設と道の駅を合わせた年間販売額は、前年度比5.4%増の121億円となり、現在の調査方法となった平成21年度以降では最高額。

25日 県内新規高卒者の就職内定率 76.5%

青森労働局が発表した平成29年3月新規高校卒業予定者職業紹介状況(平成28年10月末現在)によると、県内高校卒業予定者就職内定率は前年同月比1.8ポイント増の76.5%となった。うち、県内就職内定率は同3.9ポイント増の67.3%、県外就職内定率は同0.3ポイント増の89.3%となった。

27日 青森市長選、小野寺氏初当選

前職の辞職に伴う青森市長選で、即日開票の結果、元総務省官僚の小野寺晃彦氏が初当選した。

国内

9日 街角景気、4カ月連続改善

内閣府が発表した10月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現況を表す現状判断指数(季節調整値)は前月を3.0ポイント上回る49.3となり、4カ月連続で改善した。

米大統領選、共和党トランプ氏勝利

米大統領選挙は8日投開票され、共和党候補のドナルド・トランプ氏が民主党候補のヒラリー・クリントン前国務長官に勝利した。共和党は8年ぶりの政権奪還となる。トランプ氏は来年1月20日に第45代大統領就任式に臨む。

14日 平成28年7-9月期のGDP、年率換算2.2%増

内閣府が発表した平成28年7-9月期の国内総生産(GDP、季節調整値)速報値は、物価変動を除く実質で前期比0.5%増、年率換算で2.2%増と、3四半期連続のプラス成長となった。

18日 来春大学卒業予定者の就職内定率 71.2%

文部科学省及び厚生労働省が発表した平成29年3月大学等卒業予定者の就職内定状況調査(10月1日現在)によると、大学卒業予定者の就職内定率は前年同月比4.7ポイント増の71.2%となった。

21日 10月の貿易収支、2カ月連続の黒字

財務省が発表した平成28年10月分貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は4,962億円と2カ月連続の黒字となった。

25日 11月の月例経済報告、8カ月連続で景気判断据え置き

内閣府は11月の月例経済報告で、景気の基調判断を「このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とし、8カ月連続での据え置きとした。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定平均 金利 (年利%)	景気動向指数(一致) 2010年=100	国内企業物価指数 2010年=100	消費者物価指数 2015年=100	鉱工業生産指数 2010年=100	機械受注(季調済) (億円)	公共工事請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2011(H23)	792,805	598,668	425,858	1.452	-	101.5	96.3	97.2	88,961	
2012(H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	-	100.6	96.2	97.8	88,134	128,456
2013(H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	-	101.9	96.6	97.0	93,232	150,536
2014(H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	-	105.1	99.2	99.0	96,920	165,257
2015(H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	-	102.7	100.0	97.8	100,891	149,257
2015(H27) 8	910,354	673,470	465,905	1.135	112.6	102.5	100.2	96.7	7,916	13,760
9	913,980	676,940	470,471	1.125	112.5	102.1	100.3	97.0	8,384	15,225
10	917,792	673,540	468,785	1.125	113.6	101.4	100.2	98.2	8,918	14,020
11	924,879	679,175	471,254	1.121	112.8	101.3	99.9	97.1	8,050	10,480
12	955,628	679,106	475,937	1.110	111.5	100.9	99.8	95.9	8,130	11,811
2016(H28) 1	956,932	677,992	475,000	1.108	112.3	99.9	99.5	98.3	9,347	8,547
2	944,904	687,209	473,374	1.098	110.3	99.6	99.6	93.2	8,487	10,211
3	951,906	704,814	480,044	1.076	111.1	99.5	99.7	96.7	8,951	23,359
4	956,074	713,531	475,438	1.066	112.8	99.1	99.9	97.2	7,963	7,969
5	957,942	714,947	475,966	1.054	110.3	99.2	100.0	94.7	7,850	7,412
6	951,991	715,380	478,005	1.039	112.1	99.1	99.9	96.9	8,498	14,466
7	960,075	711,968	478,318	1.033	112.0	99.1	99.6	96.5	8,919	12,706
8	962,598	713,266	478,897	1.026	111.7	98.8	99.7	97.8	8,725	13,674
9	961,605	718,064	483,362	1.016	112.5	98.8	99.8	98.4	8,437	21,528
10	964,126	720,207	482,275	1.014	P 113.9	P 98.7	100.4	P 98.5	8,783	11,628
前月比%	0.3	0.3	-0.2	-0.002*イント	1.4ポイント	-0.1	0.6	0.1	4.1	-46.0
前年同月比%	5.0	6.9	2.9	-0.111*イント	-	-2.7	0.1	-1.3	-5.6	-17.1
資料出所	日本銀行				内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原指数による

年次及び月	新設住宅着工戸数 (戸)	新車登録届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・スーパー販売額 (億円)	企業倒産		完全失業率 (季調済) (%)	国際収支(経常) (億円)	東京外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経商品指数 (月末42種) ('70年=100)
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2011(H23)	834,117	3,525	195,933	12,734	35,929	4.6	104,013	79.76	8,455.35	165.195
2012(H24)	882,797	4,572	195,916	12,124	38,346	4.3	47,640	79.79	10,395.18	169.679
2013(H25)	980,025	4,562	197,774	10,855	27,823	4.0	39,317	97.71	16,291.31	188.334
2014(H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	26,458	105.79	17,450.77	183.036
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	P 166,413	121.09	19,033.71	160.852
2015(H27) 8	80,255	271	16,056	632	979	3.4	16,249	123.23	18,890.48	169.466
9	77,872	400	15,114	673	2,709	3.4	14,521	120.22	17,388.15	166.020
10	77,153	315	16,072	742	1,062	3.1	14,018	120.06	19,083.10	165.098
11	79,697	314	16,490	711	1,417	3.3	11,059	122.54	19,747.47	163.272
12	75,452	308	20,925	699	3,854	3.3	9,401	121.84	19,033.71	160.852
2016(H28) 1	67,815	329	16,913	675	1,269	3.2	5,901	118.25	17,518.30	155.948
2	72,831	382	14,886	723	1,635	3.3	23,874	115.02	16,026.76	154.942
3	75,744	532	16,463	746	1,759	3.2	29,862	113.07	16,758.67	156.095
4	82,398	269	15,456	695	1,033	3.2	18,313	109.88	16,666.05	158.194
5	78,728	276	15,978	671	1,159	3.2	17,827	109.15	17,234.98	158.665
6	85,953	344	15,675	763	1,082	3.1	9,815	105.49	15,575.92	156.704
7	85,208	348	17,210	712	1,240	3.0	P 19,382	103.90	16,569.27	157.572
8	82,242	279	15,541	726	1,260	3.1	P 20,008	101.27	16,887.40	156.636
9	85,622	397	14,705	649	851	3.0	P 18,210	102.04	16,449.84	156.713
10	87,707	315	15,966	683	1,112	3.0	P 17,199	103.82	17,425.02	158.586
前月比%	2.4	-20.7	1.3	5.2	30.8	0.0*イント	-	1.7	5.9	1.2
前年同月比%	13.7	-0.2	-1.0	-8.0	4.7	-0.1*イント	22.7	-13.5	-8.7	-3.9
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ		総務省	財務省	日本銀行	日経新聞社	

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行(-)還収 超額(億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2011 (H23)	1,371,440	-3,465	693	47,408	26,781	95.8	182,648	54,547	73	34,830
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	1,287	47,633	26,780	104.7	208,618	55,074	57	52,781
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	1,762	48,252	27,298	106.4	197,238	60,716	53	11,199
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,319,297	-6,205	2,749	49,540	28,849	107.9	151,727	58,460	52	6,894
2015 (H27) 8	1,308,552	-160	184	49,379	27,681	108.5	17,562	6,120	3	215
9	1,307,723	-101	210	49,258	28,098	108.7	17,298	8,906	4	453
10	1,308,265	-28	296	49,320	28,072	108.4	19,106	7,222	8	491
11	1,307,463	-74	240	49,204	28,069	106.5	7,657	2,385	4	106
12	1,306,631	-128	763	49,762	28,402	101.9	5,892	2,673	2	132
2016 (H28) 1	1,305,721	-239	-186	49,309	28,253	103.8	4,867	1,928	5	356
2	1,304,593	-320	281	49,042	28,274	108.7	3,779	1,377	8	2,655
3	1,303,392	-5,274	271	49,540	28,849	109.5	6,905	3,692	4	1,369
4	1,297,378	502	298	49,937	28,291	118.4	37,048	12,688	3	1,773
5	1,297,165	-168	119	49,599	28,466	98.8	10,337	3,842	4	437
6	1,296,266	-162	332	50,133	28,545	107.6	21,814	8,455	5	1,592
7	1,295,463	-100	202	49,937	28,673	117.9	18,765	8,366	2	22
8	1,294,831	19	214	49,828	28,672	105.4	12,774	5,252	2	30
9	1,294,209	66	198	49,747	29,081	P 111.6	23,679	10,917	9	748
10	1,293,681	126	328	P 49,914	P 29,015		13,180	5,240	3	213
11	1,293,130		287						2	2,643
前月比 %	-0.0	-	-	0.3	-0.2	5.9	-44.3	-52.0	-33.3	1,140.8
前年同月比%	-1.1	-	-	1.2	3.4	2.6	-31.0	-27.4	-50.0	2,393.4
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	新車 登録台数 (台)	乗用車登 録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2011 (H23)	26,512	38,137	4,890	3,051	1,581	518	97.0	287,873	254,469	154.8
2012 (H24)	33,496	49,397	5,578	3,286	1,844	582	96.2	274,133	253,142	155.0
2013 (H25)	31,442	49,982	6,461	4,193	1,958	632	96.5	267,928	257,302	154.4
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	586	100.0	255,240	P 251,066	P 154.6
2015 (H27) 8	1,958	2,767	459	296	133	49	100.1	267,869	229,076	150.1
9	2,913	4,244	693	392	249	71	100.2	224,094	214,820	155.1
10	2,486	3,283	502	301	135	53	100.0	264,004	215,638	157.1
11	2,301	3,240	466	270	144	45	99.7	262,354	224,348	156.0
12	2,049	2,746	541	235	251	47	99.5	284,982	405,190	154.5
2016 (H28) 1	2,033	3,087	216	99	85	20	99.2	257,619	229,417	143.5
2	2,339	3,616	397	128	107	38	99.2	231,427	219,094	151.1
3	4,052	6,056	392	212	135	39	99.3	269,992	226,325	155.8
4	2,737	3,638	652	401	204	66	99.6	254,111	221,038	156.3
5	2,204	3,055	452	316	106	50	99.5	290,367	216,672	144.0
6	2,685	3,473	610	394	180	67	99.6	224,963	329,119	157.8
7	2,992	3,848	687	381	281	69	99.3	229,876	257,122	155.7
8	1,939	2,690	543	363	155	58	99.3	260,830	229,871	148.4
9	2,972	4,146	664	376	241	66	99.4	237,847	215,324	151.5
10	2,525	3,465	730	347	334	70	99.6	282,665		
前月比 %	-15.0	-16.4	9.9	-7.7	38.6	5.5	0.2	18.8	-6.3	2.1
前年同月比%	1.6	5.5	45.4	15.3	147.4	32.4	-0.4	7.1	0.2	-2.3
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニ 販売額 (百万円)	家電大型専 門店販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホームセ ンター販 売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2011 (H23)	175,736	-	-	-	-	215,428	364	214	121,511	21,044
2012 (H24)	181,246	-	-	-	-	274,892	263	164	112,395	18,670
2013 (H25)	179,920	-	-	-	-	255,696	317	191	97,591	19,672
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2015 (H27) 8	15,437	8,585	2,514	4,015	4,886	2,490	523	-	9,654	1,986
9	12,845	7,615	1,940	3,584	4,125	26,201	258	156	16,410	3,010
10	13,663	7,810	1,990	3,759	4,497	26,121	280	247	25,200	3,494
11	13,344	7,308	2,026	3,683	4,524	24,205	289	205	30,676	3,966
12	17,960	7,913	2,914	3,940	5,426	28,792	332	188	8,958	1,947
2016 (H28) 1	14,284	7,257	2,616	3,827	3,713	36,682	310	190	1,819	764
2	12,798	6,759	1,868	3,497	2,893	36,392	307	198	3,118	997
3	14,327	7,428	2,562	3,686	3,850	37,231	326	201	3,575	1,067
4	13,197	7,421	1,828	3,869	4,855	29,937	349	267	1,813	602
5	13,799	7,914	1,916	3,972	5,193	23,268	392	-	2,387	622
6	13,258	7,751	1,878	4,090	4,247	15,551	396	-	1,299	384
7	14,132	8,542	2,534	4,175	4,592	10,282	417	-	3,523	1,350
8	15,068	9,040	2,358	4,422	4,664	2,639	458	-	7,034	2,815
9	12,546	8,171	1,995	3,962	3,951	22,433	278	190	14,199	3,030
10 P	13,758	8,406	2,136	4,120	4,351	26,137	325	245	25,531	4,668
前月比 %	-	2.9	7.1	4.0	10.1	16.5	16.9	28.9	79.8	54.0
前年同月比%	-0.4	7.6	7.3	9.6	-3.2	0.1	16.1	-0.8	1.3	33.6
資料出所	経済産業省				県りんご果樹課			八戸市水産事務所		

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断 DI)	あおぎん BSI	
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)			
2011 (H23)	0.50	0.80	-	14,439	9,178	29,937	111,720	103,081	-	-	
2012 (H24)	0.64	0.96	-	13,070	6,785	29,059	107,146	122,288	-	-	
2013 (H25)	0.78	1.14	-	12,291	7,651	35,866	122,070	141,664	-	-	
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-	
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-	
2015 (H27) 8	0.93	1.29	7,559	807	488	1,518	12,935	14,652	-	-	
9	0.94	1.30	7,020	814	400	1,117	8,953	31,322	-	-	
10	0.95	1.29	6,288	689	476	2,095	12,160	11,871	49.3	} 12.0	
11	0.96	1.31	5,984	607	241	2,558	12,884	16,876	-		
12	0.97	1.35	6,654	716	326	2,551	4,391	14,637	-		
2016 (H28) 1	1.02	1.57	10,348	1,598	351	1,516	13,934	10,284	48.5	} 5.1	
2	1.01	1.37	8,307	1,096	475	1,052	9,239	12,054	-		
3	1.03	1.36	6,673	873	374	1,787	10,032	8,588	-	} -4.8	
4	1.06	1.49	5,960	692	299	944	11,210	10,705	45.8		
5	1.06	1.49	7,048	830	472	889	9,692	8,893	-		
6	1.07	1.47	6,729	826	354	1,002	11,929	9,743	-	} -4.8	
7	1.10	1.52	6,591	711	291	757	10,010	14,739	48.3		
8	1.10	1.43	7,441	854	475	1,475	10,052	9,863	-		
9	1.11	1.41	6,143	696	386	1,042	5,155	11,471	-	} -4.8	
10	1.12	1.54	5,554	587	291	513	13,673	27,196	43.2		
前月比 %	0.01ポイント	0.13ポイント	-9.6	-15.7	-24.6	-50.8	165.2	137.1	-5.1ポイント	0.0	
前年同月比%	0.17ポイント	0.25ポイント	-11.7	-14.8	-38.8	-75.5	12.4	129.1	-	-	
資料出所	青森労働局			函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課		青森銀行	

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設入込客数(人)	宿泊者数(人)	青森空港乗降客数(定期便)(人)	パスポート発行件数(件)	三市の宿泊者数(人)			地区 BSI		
					青森市(12施設)	弘前市(17施設)	八戸市(19施設)	青森	津軽	県南
2011(H23)	10,484,558	1,184,887	815,565	16,435	301,871	329,493	446,488	-	-	-
2012(H24)	10,852,850	1,248,715	819,941	18,765	322,945	334,981	496,548	-	-	-
2013(H25)	10,408,710	1,616,712	848,951	14,968	402,275	483,615	505,059	-	-	-
2014(H26)	9,878,186	1,498,169	903,389	13,560	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015(H27)	9,987,004	1,508,616	981,175	13,301	373,938	518,399	473,134	-	-	-
2015(H27) 8	1,560,838	168,511	103,206	1,501	45,007	61,050	47,932			
9	1,022,417	140,163	96,801	1,036	35,898	48,991	40,596			
10	903,788	152,918	101,649	1,016	41,693	53,826	42,835			
11	681,553	123,152	84,529	1,266	28,112	41,835	41,301	15.0	12.9	8.4
12	528,779	110,862	69,759	1,045	24,593	35,453	40,135			
2016(H28) 1	468,359	102,158	69,081	1,319	25,684	31,678	35,026			
2	471,690	107,184	71,039	1,056	26,148	37,109	34,564	1.3	14.8	1.3
3	571,984	109,271	84,293	1,431	24,735	37,107	38,127			
4	812,847	119,087	80,070	1,050	27,512	47,277	35,340			
5	1,053,834	127,734	87,259	1,104	32,009	44,131	38,291	-3.4	-7.0	-4.8
6	902,370	134,567	90,257	1,172	34,781	47,229	39,886			
7	998,356	140,092	98,750	1,152	34,090	48,287	42,935			
8	1,471,190	171,831	112,073	2,023	44,735	63,837	48,865	-10.6	4.8	-6.3
9	957,213	137,835	101,989	1,161	35,624	47,723	41,995			
10	969,341	156,238	103,494	1,113	41,564	54,909	45,442			
前月(期)比%	1.3	13.4	1.5	-4.1	16.7	15.1	8.2	-7.2ポイント	11.8ポイント	-1.5ポイント
前年同月(期)比%	7.3	2.2	1.8	9.5	-0.3	2.0	6.1	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県統計分析課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は県内53施設(2016.7以降)合計

年次及び月	推計人口(人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数(戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2011(H23)	299,250	183,378	237,327	6,650	2,928	5,856	1,134	612	1,247
2012(H24)	297,618	182,487	236,434	8,346	3,917	7,221	1,260	868	1,440
2013(H25)	295,145	181,057	235,585	7,740	3,612	6,467	1,665	822	1,457
2014(H26)	292,769	179,582	233,951	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015(H27)	290,251	178,098	232,634	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2015(H27) 9	288,029	176,590	231,337	702	333	605	219	78	165
10	287,622	177,549	231,379	609	260	507	107	74	96
11	287,450	177,503	231,304	516	276	509	78	56	122
12	287,269	177,447	231,208	483	260	431	110	108	117
2016(H28) 1	287,160	177,383	231,098	496	214	415	40	48	66
2	286,952	177,222	231,040	547	258	454	119	136	78
3	286,626	177,015	230,917	1,136	518	671	105	42	143
4	284,815	175,739	230,070	726	287	598	206	67	175
5	285,536	176,308	229,994	523	238	461	103	60	92
6	285,356	176,196	229,811	687	287	592	169	115	111
7	285,106	176,105	229,809	802	315	623	177	136	133
8	284,978	176,154	229,805	461	227	431	116	74	145
9	284,936	176,025	229,661	693	340	621	157	85	159
10	284,754	175,900	229,527	571	313	565	275	100	109
11	284,649	175,942	229,466						
前月(期)比%	-0.0	0.0	-0.0	-17.6	-7.9	-9.0	75.2	17.6	-31.4
前年同月(期)比%	-1.0	-0.9	-0.8	-6.2	20.4	11.4	157.0	35.1	13.5
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		